

患話休題

かんわきゅうだい



院長
真崎 雅和



子供の声がかすれた

例えば、ひいきにしているチームの応援に熱が入り過ぎて、大声で応援した後に声が出なくなったり、ガラガラ声になることがあります。多くの場合は一時的な喉頭炎で、声帯という一對のヒダが赤く腫れた状態になっています。こうした場合、声を出すのを控えていると、数日のうちに元に戻る場合がほとんどです。

日常的に大きな声を使う人では、声がかんだんかかれてきて、ついには戻らなくなることがあります。この場合には声帯に慢性的な形状の変化が起こっています。最も多いのは「声帯結節」というもので、ヒダ(声帯)の中央より前の部分の左右に小さなぶができています。これはいわゆる「バンドコ」と一緒に、左右の声帯が通常使用する以上にぶつかり合うためにできたものです。歌手にできたものを「教師結節」などと呼んでいます。元氣に大きな声を出して遊ぶ子供にもできることがあります。「小児結節」とも呼ばれています。

例え、ひいきにしているチームの応援に熱が入り過ぎて、大声で応援した後に声が出なくなったり、ガラガラ声になることがあります。多くの場合は一時的な喉頭炎で、声帯という一對のヒダが赤く腫れた状態になっています。こうした場合、声を出すのを控えていると、数日のうちに元に戻る場合がほとんどです。



ただ、声のかすれた状態が数年は続くということになり、周囲からかわられたり、いらぬ心配をされたり、本人に対する心理的影響は考慮されなければなりません。家庭では、ゆっくり話す練習をしたり、急に大声を出すのをたしなめる必要があります。学校でも、教育の場で大きな声を出させたり、出ない音域を無理に歌わせたりしない配慮が必要です。なお、ささやきはかえって声帯に負担をかけるので避けるようにしましょう。本人が気にしていなければ、もちろん神経質になる必要はありません。

大人では、声のかすれる疾患は他にいくつかあります。声帯に内出血を起こして、そこに水が溜まった「声帯ポリープ」(左右片側)、左右ともによぶよよと水ぶくれになる「ポリープ様声帯」(喫煙者が多い)、腫瘍では良性的「喉頭肉芽腫」、悪性の「喉頭癌」もあります。その他、声帯がけいれんする場合や、心理的に声が出なくなることもあります。老人では声帯が細くなった、声を出す筋肉の力が弱まるのが原因となり、これらは子供と違って診断・治療が重要です。

診察時間が近づいたことをお知らせする

メールサービス
約30分前

ご利用ください。ご希望の方はメルアドを受付へ!!



急患随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	○	△ 3:00~4:00	休診

真崎耳鼻咽喉科医院

TEL.018-845-0234 FAX.018-847-1321 秋田市土崎港中央6-8-3